華やかに開幕

人気に湧きたつ「新潟まつり」

＝こんな時に事故が多い＝

規則や注意を守りましょう

▽…待望の新潟まつりは、いよいよ八月二…△
▽…十一日の前夜祭を皮切りに二十二、三…△
▽…の両日全市を挙げて華々しくその幕を…△
▽…開けますが、この新潟まつりの見物に…▽
▽…ついて東西両警察署、海運局、消防本…△
▽…部、市保健所、市衛生課、商工会議所、…△
▽…市商工課等からそれぞれ次の注意事項…△
▽…が発表されましたので、お互にこれ等…△
▽…のことをよく守って事故のないたのし…△
▽…い新潟まつりといたしましょう。……△

△花火打上げ場所と立入禁止区域

花火の打上げ場所は、両日とも万代橋と昭和橋の中間信濃川東岸とその水面で、立入禁止区域は略図のとおりです。

なお立入禁止の危険区域周辺には、綱張り、バリケート、標識を設置し、水面には赤灯、赤旗をたてて又はたるを浮かせる等して立入禁止区域を表示しますから一般者及び船舶は立入らないで下さい。

△通行禁止の区域（人車とも）

次の道路は、両日とも午後六時三十分から午後十時三十分までの間諸車及び歩行者の通行を禁止いたしますからご協力下さい。

鉄道教習所東角前十字路から下所島の帝石事務所前十字路までの間の道路及びその道路から川岸に通ずる各道路。

なお川端町一丁目から六丁目と、川岸までの地域については歩行者の通行はさしつかえありませんが、諸車の通行は禁止いたします。

△昭和橋、塩ノ橋通行制限

両日とも午後六時三十分から午後十時三十分までの間自動車、原動機付自転車以外の緩行車及び一般歩行者の通行を禁止いたします。又橋上の駐、停車はしないで下さい。

△駐車禁止の道路

万代橋東詰から駅前三叉路までの道路

△自動車、原動機付自転車の乗入禁止

両日とも午後八時から午後十時三十分までの間一般自動車、原動機付自転車は駅前三叉路から新潟駅前広場までの区間は乗入れを禁止します。

△万代橋通行の制限

万代橋の歩道は、右側一方通行としますので午後六時三十分から午後十時三十分までの間、川下歩道は東新潟方面から、川上歩道は西新潟方面からのそれぞれ一方を通行して下さい。

橋の上に立ち止って花火を見物してはいけません。

△陸上見物の注意

1、桟敷は危険のないようできるだけ低く丈夫に造って下さい。又川岸の材木は強いロープでしばり、崩れないようにして下さい。

2、桟敷の収容人員は厳重に定員を守って下さい。無理な収容は必ず事故の原因となります。又桟敷上でのタバコは特に注意し、火災防止に協力して下さい。

3、子供を迷子にしないように注意して下さい。名札をつけて置いて下さればお知らせするのに便利ですし、又地理不案内のお年寄りなどには宿の住所と名前をよく伝えて置いて下さい。

4、人ごみの中では所持品、手提、ポケット等に注意して下さい。スリが狙っています。

5、屋外でのたばこの吸がらはよく消してから捨てて下さい。

6、食べがらや汚物はみだりに捨てないで下さい。

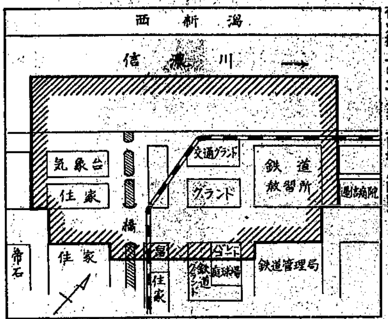
△船による見物の注意

1、川端町前面の岸壁は百屯級二隻（巾約十米）以内をつないで下さい。

2、岸壁に平行した沖合の水面立入禁止区域線は川舟一隻を縦並びにつないで下さい。

3、乗下船の際及び船内では船長又は船の責任者の指示に必ず従って下さい。

花火打上の立入禁止区域（略図）



4、特に定員については、事故発生の原因となりますから船長等の指示に従い、定員超過の乗船は厳につつしんで下さい。又船内でみだりに動き廻ったり喧噪にわたる様な行動のないように留意して下さい。

5、救命具の所在、その使い方などあらかじめ確めておいて下さい。又救命具をみだりに移動させたり、その上に座ることのない様に気をつけて下さい。

6、船は必ず船燈を掲げ危険区域に入らぬよう又浅い場所がありますから航行には充分注意して下さい。又川に落ちないよう注意すると共に、エンヂン取付船には必ず消火用具を用意して下さい。

7　観覧船は花火打上開始前に定位置につき、打上終了まで移動しないで下さい。

8　その他現場ではすべて海上保安部、水上警察の指示を厳重に守って下さい。

△不発玉の注意

落下した不発花火を発見したときは、危険ですからいじらずに警察又は消防署へ届けて下さい。

新潟まつりが終りますと不発花火を拾集しますから危険区域に立入らないよう注意して下さい。

△各家庭の注意

留守中の犯罪を防止するために、新潟まつりにお出かけのときは留守番を置くか、戸締りを厳重にしてお出かけ下さい。

不幸犯罪事故のあったときは、現場をそのまゝにして直ぐにもよりの警察か交番へお届け下さい。

留守にするときは必ず火気の後始末に注意し、電気やラジオはスイッチを切り、ガスは元栓をしめてお出かけ下さい。

火事の場合は、いち早く電話一一九番か火災報知機で消防署へお知らせ下さい。

消防自動車がサイレンを鳴らして走って来たら通行者も諸車もできるだけ広く道をあけて下さい。

△塵芥の処理

新潟まつり例年の統計から見ると、当日市内の人口は一時的に非常に増加しますが、この人達の飲食や雑沓に伴って塵芥や汚物排出の量もグンと多くなります。これは平常の一日百屯にくらべ約八割増の百八十屯にもなります。

従ってこれら塵芥を取扱う係は全能力をあげても及ばないという状態で、これには地元町内の方々から特別なご援助を得て毎年処理していますが、今年もまた町内の方々や土地建物の所有者、管理者等のご協力を得て清潔を保ちたいと存じます。

△防塵散水について

これは日没前に散水車が全能力をあげて実施していますが、それでも完全という訳にはいきません。これもご町内や出店者のご協力をお願い致します。

△排泄汚物について

これは毎年大きな問題になりますが、一日約二〇石二日間で約四〇石という多量のものが川岸附近に山積されます。当局は川端町縦通りの突当りに毎年十カ所程度の便所を設置しますが、人出の割合に数が少ないので桟敷の下等を汚す人がありますから、桟敷の設置者は必ず便所を設置し、判りやすい標示なども立てて下さい。及危険防止も兼ね脱糞が出来ないよう桟敷下を人の出入できないよう囲をして下さい。

そして桟敷取こわし後の汚物の処理も完全にして下さい。桟敷撤去により清掃されたごみは、市に於て運搬しませんから各人に於て責任をもって市塵芥処理場（河渡海岸―三菱金属下手六〇〇米前方を左へ曲った突当り）まで自己運搬して下さい。

△臨時出店業者にお願い

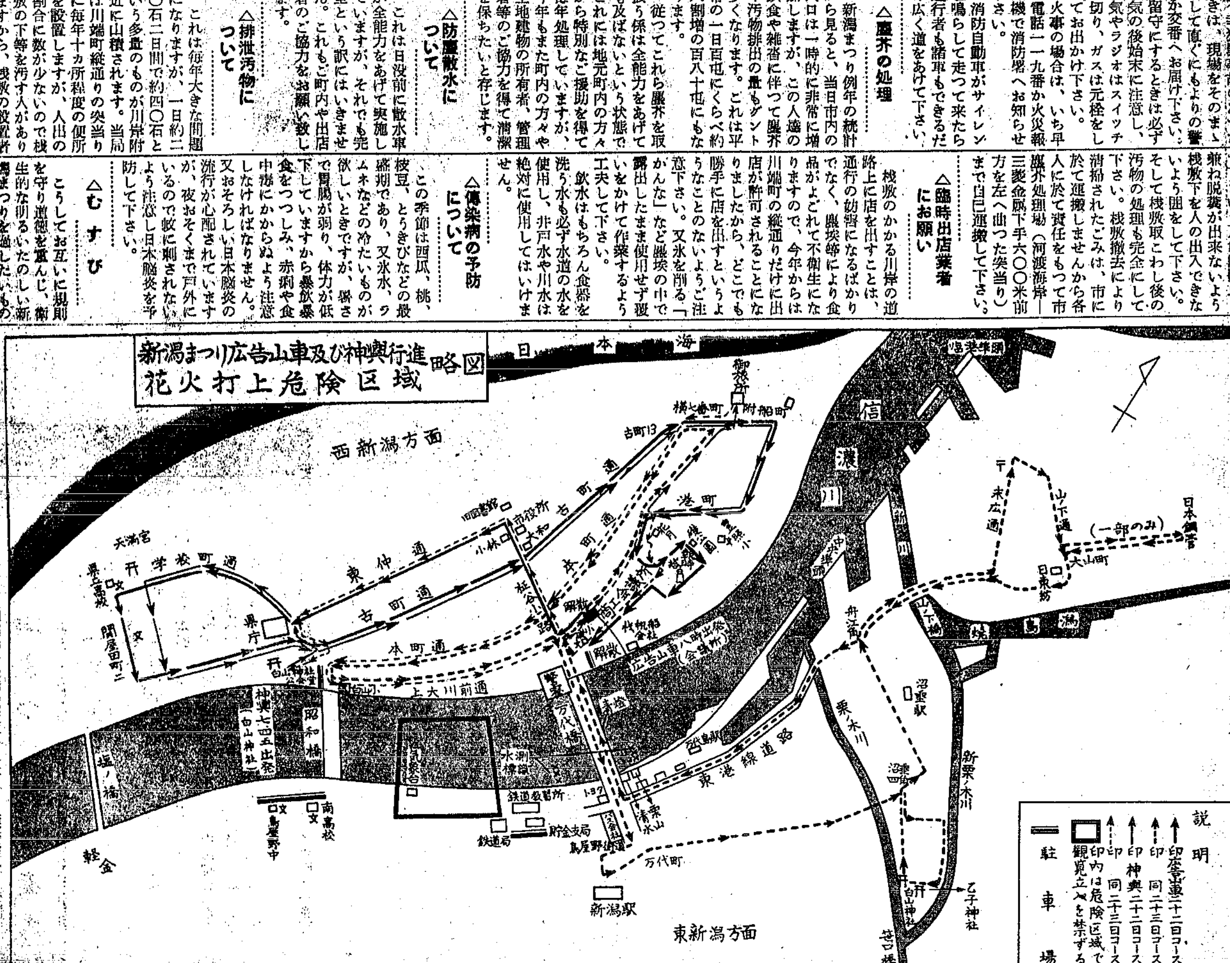
桟敷のかかる川岸の道路上に店を出すことは、通行の妨害になるばかりでなく、塵埃等により食品がよごれて不衛生になりますので、今年からは川端町の縦通りだけに出店が許可されることになりましたから、どこでも勝手に店を出すというようなことのないようご注意下さい。又氷を削る「かんな」など塵埃の中で露出したまま使用せず覆いをかけて作業するよう工夫して下さい。

飲水はもちろん食器を洗う水も必ず水道の水を使用し、井戸水や川水は絶対に使用してはいけません。

△伝染病の予防について

この季節は西瓜、桃、枝豆、とうきびなどの最盛期であり、又氷水、ラムネなどの冷たいものが欲しいときですが、暑さで胃腸が弱り、体力が低下していますから暴飲暴食をつつしみ、赤痢や食中毒にかからぬよう注意しなければなりません。

又おそろしい日本脳炎の流行が心配されていますが、夜おそくまで戸外にいるので蚊に刺されないよう注意し日本脳炎を予防して下さい。

△むすび

こうしてお互いに規則を守り道徳を重んじ、衛生的な明るいたのしい新潟まつりを過したいものです。